

式 辞

東京農業大学稲花小学校 新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新入生の皆さん、そして、保護者の皆様も、今日の入学式を楽しみにしていらしたと思います。こうして皆さんの嬉しそうな顔を見ることができて、私たち、農大稲花小の教職員一同、同じように嬉しい気持ちでいっぱいです。また本日は、皆さんの入学をお祝いして、ご来賓の方々もいらしています。農大稲花小や、農大稲花小の子どもたちを応援して下さる方々がたくさんいらっしゃるということも、とても嬉しいことです。新入生の皆さんは、たくさんの方々の応援の中で、小学生になりました。

新入生の皆さんは、これから、農大稲花小でたくさんの勉強をしていきます。読んだり書いたりするだけでなく、いろいろなものを見たり、聞いたり、食べたりすることも勉強です。お友だちと一緒に遊んだり、運動したり、実験をしたりするのも、勉強です。教室だけでなく、大学のキャンパスや大学農場に行ったり、田圃や畑に行ったりして、いろいろな人からお話を聞くのも、農大稲花小の勉強です。わくわくする勉強や不思議でおもしろい勉強がたくさんあります。勉強って、本当に楽しいことばかりです。農大稲花小での勉強を、楽しみにしてください。

さて、新入生の皆さんは、「冒険」という言葉を知っていますか？ 冒険っていったいなんでしょう。農大稲花小では皆さんに、いろいろな冒険をしてもらいたいと思っています。でも、冒険といっても、危ないことや怖いことをするではありません。今までできなかったこと、難しそうなことにも勇気を出して取り組んでみることに、これが農大稲花小の冒険です。その冒険には、しっかりとしたところやからだ、そしていろいろな準備が必要です。恥ずかしがらずにお話をするのも冒険です。あまり好きでないものを、少しだけ食べてみるのも冒険です。わからないことがあれば勇気をもって質問したり、今まで知らなかったことを調べたり、自分の考えをしっかりと伝えることも、冒険と言えます。新入生の皆さんには、毎日、たくさんの冒険をしながら、大きくなってほしいと思っています。

保護者の皆様には、改めてお子様のご入学のお祝いを申し上げます。難関だった本校の入学試験を突破して、本日、入学された1年生72名は、農大稲花小の第7期生となります。2019年4月に開校した本校は、昨年度、1年生から6年生までがそろい、3月にはじめての卒業生を送りだしました。そして新年度となり、教職員だけでなく、上級生の子どもたちも、新入生の入学を心待ちにして参りました。

本日の入学式を挙げるにあたり、学校法人東京農業大学 理事長 江口文陽(えぐちふみお)先生にご登壇いただいております。この後、ご祝辞を賜るところです。

同じく、学校法人東京農業大学 理事並びに統括校長 である梅原章司(うめはらしょうじ)先生、東京農業大学稲花小学校教育後援会会長 窪田光平(くぼたこうへい)様にもご登壇いただいております。窪田様にも入学式へのご祝辞をいただきありがとうございました。

学校法人東京農業大学の大きな支援、また、教育後援会と保護者の皆様の応援をいただきながら、農大稲花小は創立以来7年目の春を迎えることができました。

本校の校舎は、地上4階地下1階、プールや特別教室、また、毎日の昼食を調理する給食室などを備え、農大稲花小学校の子どもたちが、健康で楽しく学校で過ごせるように、様々な工夫が施されています。この校舎やグラウンドに、元気な子どもたちの声が響く、そんな毎日をこれから共に過ごして参りたいと思います。

さて、東京農業大学の創設者である榎本武揚公は、「教育とは、セオリー(理論)とプラクティス(実践)の二者が車の両輪のように並び行われることで、はじめて完全なものとなる」という理念をもっていました。そしてこの理念は、東京農業大学の教育理念である「実学主義」として脈々として受け継がれています。

本校のカリキュラムも、体験を重視し、体験したことから考え、表現し、知を獲得する学び、そしてそこから確かな学力や人間力を身に付けることを目指しています。まさに、農大稲花小の子どもたちは、榎本公が掲げる理念の最も若い後継者といえます。

さらに、榎本公は、未知なるものにひるまず、困難に立ち向かうことの大切さを、「冒険は最良の師である」というオランダ語の言葉にして遺しています。本校は、この言葉に基づき「冒険心の育成」を教育の理念として掲げています。冒険心とは、自分にできないことや、新しい未知なる世界に挑む勇氣と主体性をもち、本気になって取り組む心のことです。

私たち農大稲花小の教職員は、学校法人東京農業大学の大きな支援のもと、また東京農業大学がこれまでに培ってきた教育資源を活用して、冒険心をもって科学的・実践的に学べる子どもを育てまいります。義務教育である小学校としての基礎教育をしっかりと行いつつ、五感を大切に、体験を重視すること、食や農、環境への理解を深めること、英語を含めコミュニケーション力を養うことなど、農大稲花小ならではの教育を行ってまいります。本校の子どもたちは、東京農大の3つの農場、さらに、世田谷キャンパス、厚木キャンパス、北海道オホーツクキャンパスを訪問し、「東京農大の小学校」の子どもたちらしい学びを続けています。

将来を見通すことが難しく、日々激動する社会に私たちは生きています。しかし、確かな学力とコミュニケーション力を備え、そして何より冒険心をもった子どもたちは、どのような社会になっても、地球のどこにあっても、きっと活躍し、幸せな人生を歩むことができるでしょう。

保護者の皆様、そして、ご来賓の皆様のご理解とご協力を仰ぎながら、私たち教職員一同、新入生の一人一人を大切に、愛情を注ぎながら、教育に当たってまいります。今日の日が、それぞれのお子様の夢、ご家族の希望を叶える第一歩となることを願っております。

東京農業大学稲花小学校新入生の皆さん、制服やランドセルにも早く慣れて、お友だちとともに毎日、元気に楽しく小学校で過ごしてください。

ご入学おめでとうございます。

2025年4月6日

東京農業大学稲花小学校
校長 杉原 たまえ